

東大 文系国語(配点:120点)

合格科類	得点	全体	第一問	第二問	第三問	第四問
文科一類	80	古典が取り組みやすく、現代文は読解に苦労した。	自分なりに全体の流れを把握できたと思う。	内容がわかりやすいため、簡潔な記述を意識しなければ字数オーバーしやすい。	取り組みやすい文章・設問だった。	自分なりの解釈で押し通せそうな設問だった。
文科一類	80	最初だったが意外と緊張せず、何か新傾向はないかと探るほど余裕をもてた。	(1)は「～因はそこにある」→「なぜそういえるのか」という構造の難しい設問だと思い、はじめは厳密な分析を試みたがよくわからず、時間もかかりそうだったので、直前の内容をまとめるだけにした。	簡単だったなーと思ったが、意外と間違っていた。何か途中で矛盾に気づいたら戻って考えるべき。	去年まで2年連続で難しかったので覚悟していたが、まあ普通だった。	エッセイに関するエッセイを出すなんておもしろいと思った。
文科一類	75	最初の教科というだけあって、ここで手ごたえを感じることかなり安心できた。	過去問演習と倫理をしっかりやっておいて良かったと感じた。問題文がとてもおもしろかった。	単語をド忘れしたものが1つあったので、直前期でも古単の確認は必要だと感じた。	昨年に比べて論旨も読み取りやすく書きやすかった。	全体的に言語化しづらい感じがした。設問同士の住み分けも若干難しい。
文科一類	67	古漢が楽で、例年並みの難しさだったと思う。Z会の添削ももちろんだが、学校の先生にも添削してもらったことを強くおすすめする。(国地歴)	添削問題で培った記述力を存分に発揮した。(3)あたりが「ん？」ってなった。	総じて解きやすく、記述力で差が出ると思う。	総じて解きやすく、記述力で差が出ると思う。	正直意味がわからなかったが、的外れなことは書かないように注意した。
文科二類	80	時間配分だけは上手いかったと思う。	冷静な思考を保てたか心配。答案をまとめるのに時間がかかった。	「つめども隠れぬものは」の歌が元々好きだったので、全力で解けた。	解けたはず、簡単なはずなのに答えと違うところがあった。	難しすぎて、というか焦ってあまり記憶にない。読解に時間と気力を費やした。
文科二類	75	解いているうちに視野がせまくなり、「具体例や比喩は解答に残さない」「直訳はさげ自然な日本語に直す」といった国語の大原則を見失ってしまう。読めたというだけで気が緩むようではまだまだだと感じた。	結構上手いけたと思ったけど、具体例や比喩がそのまま解答に残っていたり、基本が結構守れていなかった。減点が重なった。	読み易い分、解答の表現や要素の入れ方で差がつく問題だと感じた。入試の最初の科目だけあってかなり集中し、いい時間でいい解答が書けたと思った。	(一)の現代語訳に不安が残るが、あとの読解はよくできたと思うのでそこでパーでできればいいと思う。	「冒頭で明確に対比が示され、傍線部も指示語ばかり。何を書けばいいかすぐ分かるじゃん。」と思ったが内容が抽象的で自分が何を書いているか分からない。適当に埋めて時間切れ。
文科二類	72	全体的に特に変わった点はなかった。こういう場合は慣れが重要だ。過去問演習やZ会の演習を通して、解く順番や解答のまとめ方(多く書いて削るのか、少なく書いて付け足すのか)など自分流の解き方を確立させることができれば本番も怖くない。	頻出の近代論で非常に興味深いテーマだった。社会的地位の最上位に向かうことが多い東大生へのメッセージも兼ねているように思う。2015年の反知性主義者の話と同様だろう。	話の筋は読み取りやすかった。答えのまとめ方で差がつくと思われる。壹の字を間違えないように気を付けよう。私は見直しで気付いた。危なかった。	解答欄がいつもより長く、問題数がいつもより少なくなった。説明を濃くしろということがだととらえ、詳細な説明を心掛けた。解答欄に合うよう上手く中身を調整したい。	よくわからなかった。「インスピレーション」という語を5回も使ってしまった。手応えなし。こういう場合でもとにかく何か書いて解答欄を埋めないとつらい。
文科三類	80	古漢にかまけ過ぎず、大問1にたっぷり時間を使い、納得できる論述を仕上げた。国語は最初だからはずみをつけるための自己満足が大事。	珍しく(?)硬質な文章だった。全体の流れを意識しながらといた。	一文一文追っていけば、そう難しくなかった。	ありがちなテーマで読みやすかった。	「文章」関連と「作品」関連の語に印をつけながら対比を意識して読んだ。
文科三類	70	完璧な解答を望んでも仕方がないので、割り切って必要なポイントを確認に入れることに集中した。	易しい内容だったからこそ、解答の軸となる要素を明確に示そうと心掛けた。	古文と漢文合わせて一時間かける。一つの漢字から多くの意味を類推する訓練が役立った。	読み取りやすい内容の時こそ、解答に適切なポイントをいかに盛り込むかで差がつく。	難解に感じた。追及し過ぎず本文の表現も大きく変えず確実なポイントのみ入れた。
文科三類	65	古文・漢文で時間をかけずにまとめ、いかに現代文に時間をかけられるかが重要だと思った。今年は古・漢が簡単だったので時間配分もうまくいった。	東大がおもしろい文章を出したなという感じで楽しんで読めたが、設問は分かりづらかった。	話の流れはつかみやすかったので読み易かったが、解答欄がせまかった。	(-)αが分からなかったが話の流れは分かりやすかった。(二)の人間関係をどこまで書けばよいか迷った。	難解な文章で時間がないこともあって、あまり思ったように書くことができなかった。

東大 理系国語(配点:80点)

合格科類	得点	全体	第一問	第二問	第三問
理科一類	60	最初の科目であり、得意科目だったので、自信を持って取り組めた。	書けそうで書けない問題が多くて悩んだ。	内容はわかりやすかったが、簡潔にまとめるのに苦労した。	内容はつかみやすかったので、失点を減らすよう努力した。
理科一類	59	今年の古文漢文は非常に簡単でした。また現代文も内容は重い話題ですが、しっかり文章を追っていけば設問に解答することは簡単だったと思います。	使っている表現の意味を汲み取り、論に沿って文章を理解することができたので容易に感じました。しかし文章の癖は強いので人によって出来不出来が分かれそうな問題でした。	理系の問題で問われている部分は文章の理解が容易だったのですぐにできました。設問も解答する部分の細かい単語を見落とさなければ高得点が狙えるなど感じました。	古文に比べると少し難易度は高いなという感じですが、簡単だと感じました。解答欄が狭かったので、解答の方向性を掴んでからそれをまとめる部分で少し時間がかかりました。
理科一類	50	正直、国語の出来不出来はわからない。現代文がギリギリだったので心配だった。古文の「けしかる」も不安だった。	文章の内容が身も蓋もなさすぎて笑ってしまった。正直現代文の出来不出来は分からない。正解、不正解の分からないもので将来が決まるとは受験とは因果なものだと思う。	手汗がやばかった。「けしかる」の意味が分からなくて、テキストに書いたが、帰宅後調べると間違いが判明。悲しかった。でも文意は大体とれる。	簡単だった。解くに悩んだところもなかったような気がする。次の現代文のことを考えていた。
理科一類	40	一番はじめのテストで緊張していたが、漢文・古文の文意をとることができて落ち着いた。現代文は純粋に楽しめた。	今の社会にも申すような内容で、さすが東大と思いながら解いた。本文の切り取りではなく、自分の読み取った内容を書こうと心がけた。	比較的スムーズに解いた。	読み易かったが、どこまで書くか迷う設問があった。
理科一類	40	古典が解きやすかったのでも、落ち着いて現代文も読めた。緊張していても、一題解き切れば調子に乗るはず。	古典が早く終わったので、十分に時間をかけられた。草稿用紙を利用するようになる。	重要語彙や文法の知識があることをアピールする解答を書くように。	難しい年は全然読めないが、今年は読みやすかった。
理科二類	45	東大現代文は論理を捏造しないことに注意すれば、大失敗はしないと思う。	ずっと同じことを言っている文章なので、普通に書いて終わる。	読みにくくはないが書きにくい。東大っぽい。	易しくて助かる。取れるところで取れば、東大は怖くないと思う。
理科二類	45	大問2、3を先に解いて、大問1をじっくりと解くのがおすすめ。文章全体の流れを意識して考えると、解きやすいと思う。	アが少し書きにくかった。	わからない部分があってもそのまま最後まで読んで、文全体の流れから推測することができた。	文章全体の流れを意識すれば、容易に読解できた。
理科二類	45	例年より簡単だったと思う。古漢を速く解いていかに現代文に時間を回せるか。	(一)~(三)は直前を言い換えるだけだった…。(四)はキーワードを用いて図を描いてまとめるとまとまる。	逐語訳を心がける。内容説明も抜き出した後は同様。今回は抜き出し部分を探すのは容易。	逐語訳を心がける。(三)は全文を見て盛り込みすぎないように。
理科二類	40	時間をあまり気にせずにじっくりと考えることに集中した。	完璧な答案じゃなく部分点を狙いにいった。	できるだけ自然な日本語になるように注意した。	(一)は字義から離れすぎないように文脈に沿って訳した。
理科二類	40	感触と点数が乖離しやすく難しい教科だが、毎回の添削で、「どうして減点されたのか」「どう考えればよかったのか」を一つ一つ見直すのが大事。自分は最後の1カ月で大きく実力が向上したと思うので、最後まで諦めないでほしい。	内容面がなじみ深く読みやすかった。文章中のわかりにくい表現にとらわれず、筆者と対談するような気持ちでわかりやすく言い換えるように心がけた。	説話だったので安心したが、ハイレベルな争いになると考え気を引き締めた。単語や文法は本当に大事。最後の1日まで詰めた。	古文同様読みやすい。漢字の知識はコンスタントに勉強した。
理科三類	53	難易度はあまり変わらず、解きやすかった。古文の難化を予想していたが、易しいままであった。	現代文はいつもより理由説明の問題が多く、答案に自信が持てなかった。	昨年と同様、非常に易しい文章だったが、採点基準が厳しくなるかもしれないため、丁寧に答案を作成した。	漢文は昨年ほどの難易度は無かった。語彙レベルも受験生なら知っておくべき程度のものであった。記述問題で差がついたと思う。